

# カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2011. 5- 2号)

香川県水産試験場

藤原宗弘

TEL: 087-843-6511

調査方法

調査日: 5月19日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点

## 【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.5.26	0	2	47	766	19	5	177	12	1	0	0	0	0	20	93.5	74.9
2010.5.20	0	37	34	13	221	42	19	23	1	1	108	0	0	13	45.4	36.6
2011.5.19	38	111	14	8	23	0	0	136	87	27	279	0	4	-	65.7	55.9

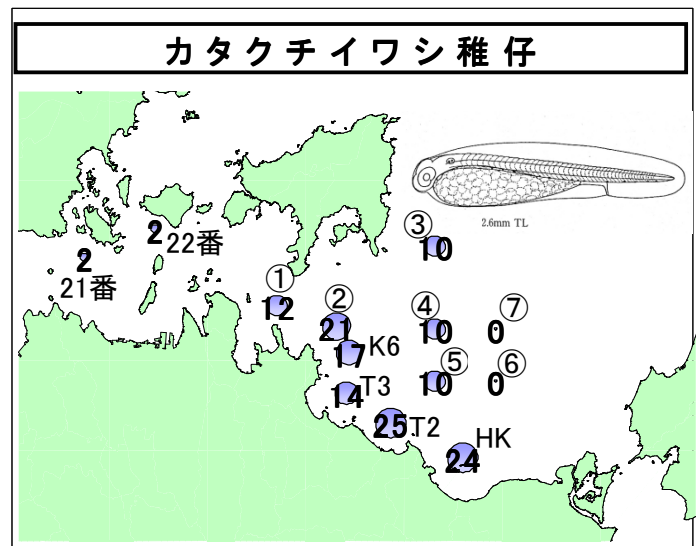
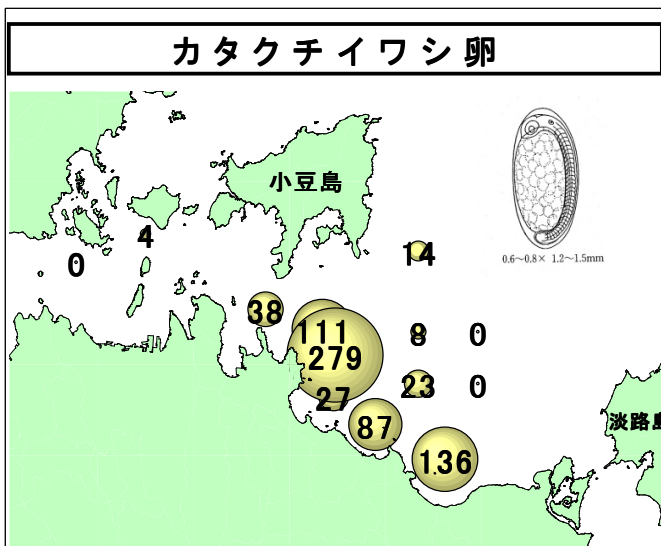
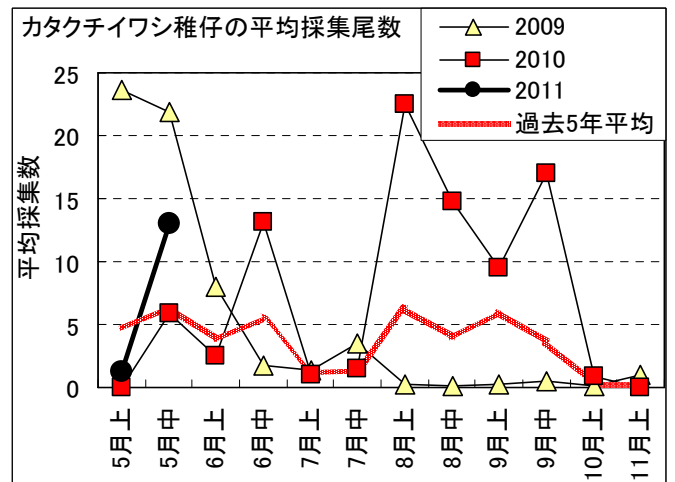
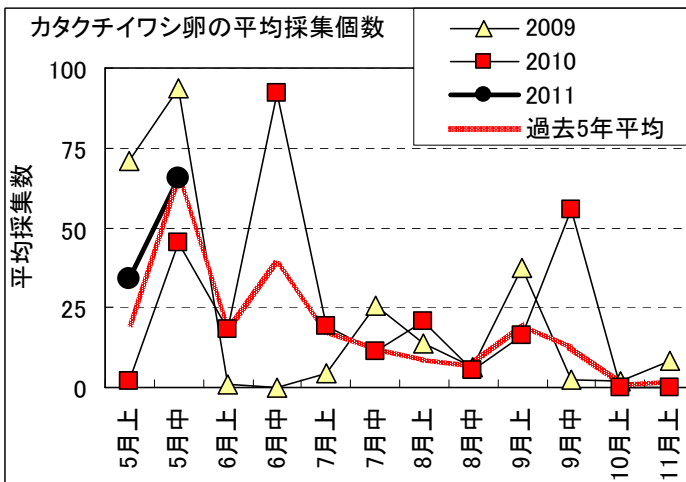
## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.5.26	8	11	30	65	47	13	18	30	1	2	16	0	0	6	21.9	17.6
2010.5.20	0	1	1	8	22	7	13	9	0	0	4	1	0	10	5.9	5.4
2011.5.19	12	21	10	10	10	0	0	24	25	14	17	2	2	-	13.0	11.3

\* 表中の「-」は未測定を表す。

\* 11点平均値:播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

\* 13点平均値:播磨灘11点+備讃瀬戸2点の平均値を表す。

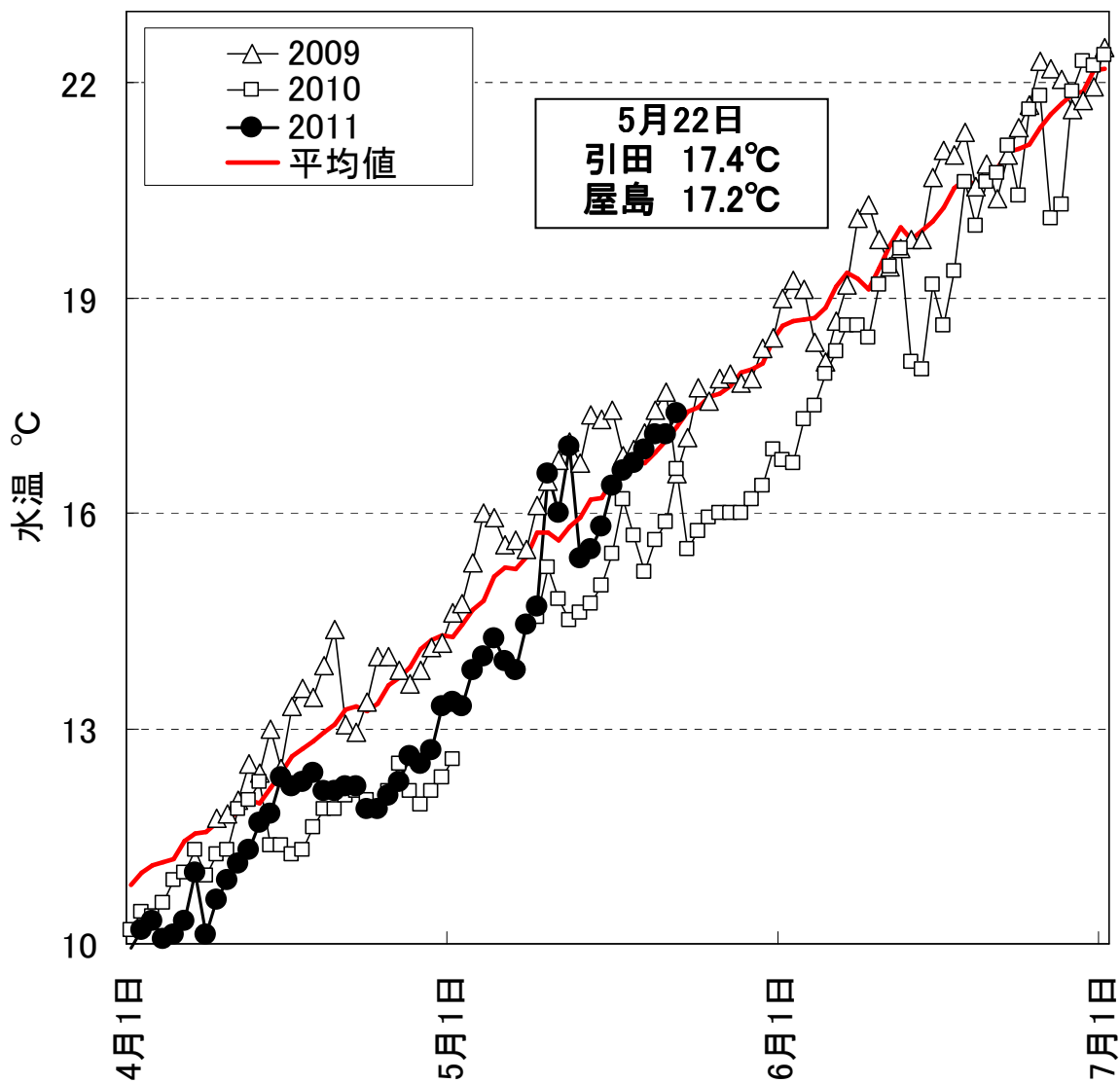


播磨灘11定点における卵の平均出現数は約65個となり、昨年同時期を上回った。卵は陸よりの調査点(②、K6、T2、HK)で多い傾向がみられた。一方、稚仔の出現は約13尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔の出現は卵と同様に若干陸よりの調査点(②、K6、T2、HK)で多い傾向を示した。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回調査と同様にそれほど多くない状況が続いている。ノクテルカ(夜光虫)が沖合の調査点(③、④、⑤、⑥、⑦)で優占していた。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、2月からかなり低めに推移していたが、4月中旬から平年並、5月はやや低めからやや高めで推移している(2月上旬に7日、中旬に3日、3月下旬に4日、4月上旬に1回、過去最低値を更新した)。

【参考】



図表の見方等、疑問点、改善点などあれば、水産試験場まで連絡ください。